

今年もよろしく

ひろがる「格差と貧困」のもとで

子どもたちを経済的理由で苦しめない

2024年度

全教広島・奨学資金の募金に
今年もご協力ください

全教広島が多くの方々に協力を呼びかけて、奨学金制度をスタートさせたのは、2001年でした。この間、子どもたちの生活背景である父母・保護者の労働や生活の状況は悪化の一途です。

コロナ禍を経て「格差と貧困」がより深刻化しており、子どもたちをめぐる状況は大変なものとなっています。「収入が大幅に下がり入学金などの支払いに悩んでいる」「失業し、授業料が払えない」「入学準備金が高く、家計への負担が大きい」など子どもたちの深刻な実態が学校現場にも寄せられています。

特に、「格差と貧困」が広がっていると言われる社会状況は、子どもたちの成長・学びに大きな影響を与えています。私たちは、一人ひとりの子どもたちが経済的理由で苦しめられることなく、文字通りかけがえのない一人ひとりとして大切にされる学校、教育を願っています。

全教広島は、子どもたちと父母・保護者を苦しめる政治にストップをかける運動を強めるとともに、これまで続いてきた奨学金制度を維持し少しでも進学不安を減らす支援をしたいと願っています。今年もぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。同封の振込用紙(ゆうちょ銀行)をご利用いただくか、広島銀行の口座へ、募金をお寄せください。

◇1口あたり 個人 1,000円

団体 5,000円

をお願いしています。

《振込口座》

○ゆうちょ銀行 01330-2-24747 教育基金

○広島銀行 広島駅北口支店 普通 1367434

全広島教職員組合 執行委員長 舩石 耕生

◆取り扱い 全広島教職員組合(略称;全教広島)

〒732-0052 広島市東区光町2-9-24 広島ロードビル403

TEL:082-264-7850 FAX:082-261-1912

E-mail:zenkyo@enjoy.ne.jp

「奨学資金」は、全教広島が設置する「教育基金」に寄せられた募金をもとに、現在広がる貧困の中で、経済的な理由で高校進学をあきらめるというケースを一つでも食い止めようと、年度末に5万円を支給する（返還不要）という取り組みです。

みなさんから寄せられた募金をもとに、これまでの23年間で、710人の方に支給し、大変喜ばれています。これからも、多くの方の善意でこの基金を大きくしていただき、教育の平等を保障するための運動をさらに広げていければと考えています。ご協力よろしくお願いします。

お金の心配なく 学校に通いたい！

- 父が亡くなり、家計が急変した。十分な貯蓄も生命保険金もなく、年金等も申請しているが支給まで時間がかかるためその間にある受験・入学にかかる費用が不安。
 - ひとり親家庭で、祖父母の介護と、障害がある姉の世話のため働ける時間に限りがあり、収入が少なく高校の費用を出すことができない。
 - ひとり親家庭で、父からの養育費が昨年12月から途絶え連絡が取れなくなった。母の仕事は収入が不安定であり今後の進学費用に不安がある。
 - 自営業でコロナの影響で収入が急激に減少しコロナ融資を受けていたが、以前のような売り上げに戻っていない中、返済が始まっており経済的に余裕がない。
 - ひとり親家庭で養育費もなく、物価高騰の中で収入のほとんどが生活費となり、教育費の負担が大きく進学費用の準備に不安がある。
- 《物価高騰、受験や進学費用の高さを訴える声が多くありました。》



奨学生への応募理由など ↑

このタイミングで支給して下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。さっそく今月末にある入学説明会での物品購入に使わせて頂きます。

子どもが希望していた高校に合格したのはうれしいのですが、入学の準備金に毎日悩んでいたところ、5万円も助けて頂けて、子どもと「ありがとうございます！」とお礼を言いました。

生活に不安を抱えながら過ごしているので、本当に助かります。同封されていたチラシの電話生活相談会に問合せしてみます。



学用品の足しになり大変助かります。私は受け取れたので大変ありがたいですが、お困りの母子家庭は多くありますので、もっと枠が広がればいいなと思います。

昔より学費はかからなくなっていると聞いていますが、立替をしないといけないうこと、私学の入学手続き金、入学金の他、教科書、制服も含めるととても高額になるのでとても助かりました。



2024年度 全教広島教育基金奨学生募集要項

全広島教職員組合（略称：全教広島）

全広島教職員組合（略称：全教広島）は、2000年5月に開催した第13回定期大会の決定に基づき、「全教広島教育基金」を設置致しました。この基金は、趣旨に賛同いただける多くの方々からの賛同募金から成り立っておりますが、これを主たる財源とする奨学制度を同時に創設致しました。

2000年度から、これまで23年間にわたって奨学生の募集を行い、あわせて710名の方に奨学金を支給してきました。コロナ禍や急激な物価高騰というかつてない経済状況により、子どもたちの格差や貧困の問題がより深刻化する中、この奨学金の意義はさらに深まっています。今年度も下記の通り奨学生募集を行います。

1. 目的

2025年3月に広島県内の公立中学校を卒業する生徒のうち、主として経済的な理由によって高校または特別支援学校高等部等への就学が困難と認められるものに対して、奨学金（就学援助金）を支給し、教育権保障の一助とする。

なお、この奨学金は生活保護制度の収入認定の対象にはなりません。

（厚生省発「生活保護法による保護の実施要領について」第8の3(3)ア）

2. 出願資格

この奨学資金を受けることができるのは、次のものである。

- ① 2025年3月、広島県の公立中学校を卒業予定であること。
- ② 主として経済上の理由によって高校または特別支援諸学校高等部への就学が困難であると認められるものであること。

3. 給付金額、人員など

- ① 奨学資金は、5万円とし、返還を求めない。
- ② 2024年度（2025年3月支給）における支給人員は、30名とする。
- ③ 奨学金は2025年3月10日前後（予定）に現金書留にて一括支給する。

4. 出願手続き

- ① この奨学資金を希望する者は、別紙出願用紙に必要事項を記入し、全教広島の分会長または学校長等を経由して全教広島へ提出する。
- ② 募集期間を2025年1月20日(月)より2025年3月5日(水)とする。

*** 3月5日必着**

出願書提出先：全広島教職員組合

〒732-0052 広島市東区光町2丁目9-24 広島ロードビル403

TEL:082-264-7850

5. 奨学生の決定

- ① 出願者が今年度支給予定人員未満の場合には、原則出願者全員に支給する。
- ② 出願者が今年度支給予定人員を越えた場合には、審査委員会の審議・議決を経て決定し、支給する。
- ③ 審査結果は、出願者及び学校へ郵送にて通知する。

